

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉研究科
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 研究科設置の理念・目的の定期的見直しをする。	→研究科委員会および研究科懇談会での理念・目的についての見直しの議題件数。	B
2. 研究科の使命および目的について公表し周知する。	→広報媒体（ホームページ、要覧、パンフレット、紀要など）の使命および目的に関するコンテンツの件数。	A
3. 研究科の固有性および特色について定期的に検証する。	→ワーキング・グループの設置と検討回数および報告書の作成とその公表の部数。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

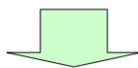
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目0.0.1	(理念・目的) 人間福祉科の理念・目的については、2008年度の設置当初より大きく変更がなく適切である。 (現状説明) 研究科設置の理念・目的に照らし合わせて、大学院諸問題検討委員会、研究科委員会でカリキュラム検討などを行った。新科目の設置および担当者の変更など種々の懸案について検討中である。
☆ 小項目0.0.2	(現状説明) 研究科の理念・目的について教職員ともども学生に対して広報媒体（ホームページ、パンフレット、研究雑誌、紀要など）を用いて研究科の使命および目的を公表周知した。また、人間福祉学部生向けに大学院入学の勧めなどチラシの作成と説明会などを2回開いた。
☆ 小項目0.0.3	(現状説明) ワーキング・グループの設置には至らなかったが、大学院諸問題検討委員会において改めて研究科の特色など検討を重ねた。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	学部学生に対して研究科の魅力を示す説明会などを開いた。
★ 小項目0.0.3	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目0.0.1	研究科委員会および学部教授会などを通じて広く意見聴取をする。
小項目0.0.2	引き続き、人間福祉学部学生を対象にした進学説明会を開催するとともに学外者に対しても広報活動をする。
★ 小項目0.0.3	大学院諸問題検討委員会にて精力的に検討する。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○研究科の理念・目的については、継続的な検討、検証が期待されます。

【学内委員】

○小項目0.0.3の現状説明は、目標3に関するものでしょうか。少しわかりにくいところです。設置後間もないにもかかわらず、研究科の特色などについて検討しているのは評価できます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○小項目0.0.3 (現状説明)

★ 研究科の固有性や特色についての検証に関してワーキング・グループの設置には至らなかったが、大学院諸問題検討委員会において改めて研究科の特色など検討を重ねた。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

0.0.0.S1	本学の育成した人材(卒業生)に対する社会(企業)の評価
0.0.0.S2	卒業生がどの程度スクールモットー(マスタリー・フォア・サービス)をどの意識しているか
0.0.0.S3	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人の比率
0.0.0.S4	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人で、「スクールモットーに共感できる」ことをその理由とする人の比率
0.0.0.S5	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率
0.0.0.S6	本学出身でキリスト教関連活動に従事する者(牧師を含む)の数
0.0.0.S7	理念の周知について(1)ー理念・教育目標を宣布する発行物・行事などの種類・数
0.0.0.S8	理念の周知について(2)ー総合コース「『関学』学」の履修者数

<個別的な指標>
